

(案)

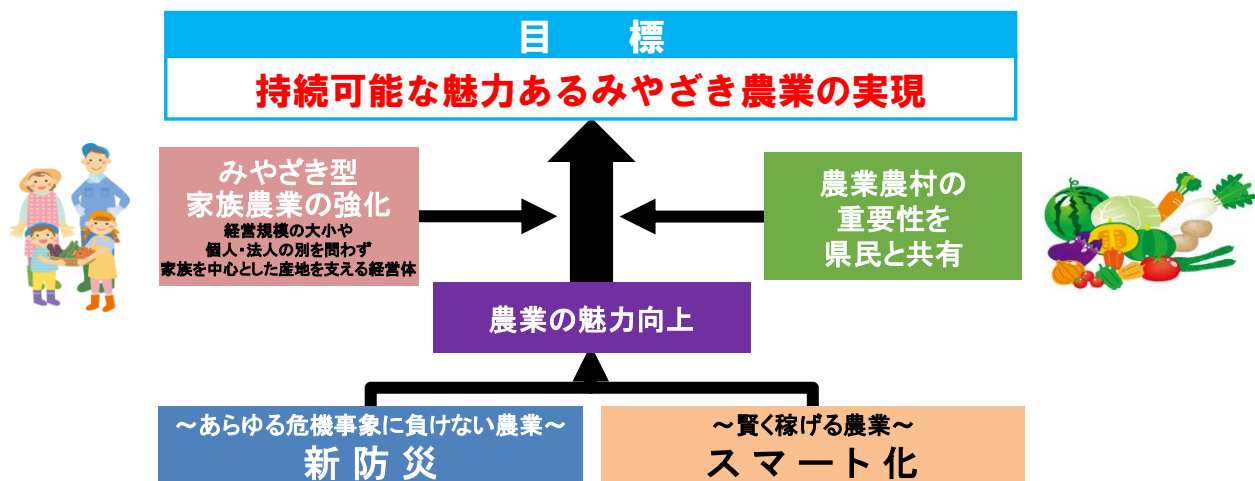
第八次宮崎県農業・農村振興長期計画
後期計画に関する資料

- 目標とめざす将来像 ・ ・ ・ ・ ・ P 1
- 計画の全体構成 ・ ・ ・ ・ ・ P 2
- 重点プロジェクト ・ ・ ・ ・ ・ P 3
- 基本計画の施策体系 ・ ・ ・ ・ ・ P 5

第八次宮崎県農業・農村振興長期計画（R3～R12）の目標・将来像

1 長期ビジョン（10年後を見据えた長期戦略）

私たちは、あらゆる危機事象に柔軟に対応できる農業構造への変革をすすめ、様々な情報を積極的に取り込んだ賢く稼げる農業を共創することで、「持続可能な魅力あるみやざき農業」の実現を目指します。



2 めざす将来像

視点1 “農の魅力を産み出す”人材の育成と支援体制の構築

- 様々な就農ルートの確保や魅力ある農業者の姿の発信により、多様な人材の確保が進んでいます。
- 発展ステージに応じた研修などを通じ、誰もがあこがれる農業人材が育成されています。
- 労働力の調整、技術・農地等の承継など地域農業の維持・発展に必要な調整体制が構築しています。

視点2 “農の魅力を届ける”みやざきアグリフードチェーンの実現

- スマート農業等の技術や効率的な生産環境等の構築により、持続的なスマート生産基盤が拡大します。
- 周年出荷、産地加工機能の強化、生産情報の見える化により、ニーズに適応した産地が増加します。
- 選果場等の集約やICTの活用により、モノと情報がつながる物流の効率化が実現します。
- 高度な鮮度保持システムなど新技術の導入により、新たな物流の仕組みが構築されます。
- 周年出荷や出荷予測による計画・大ロット販売に加え、新たなブランディングで、選ばれる産地になります。
- 輸出先国のニーズに対応した産地づくりや輸出拠点の活用などの体制を整備し、稼げる輸出が実現します。

視点3 “農の魅力を支える”力強い農業・農村の実現

- 多様な人材の活躍や、他産業との組み合わせで所得と雇用が確保され、魅力あふれる農山村になります。
- 農山村の魅力を維持・発揮しながら情報を発信し、移住者や、関係人口が創出されています。
- エネルギーや飼料生産での耕畜連携による資源循環型農業の推進や、強靱な生産基盤、農業セーフティネット、家畜・植物防疫等により、あらゆるリスクに備えた持続的で安全・安心な農業・農村になります。

第八次宮崎県農業・農村振興長期計画（後期計画）の全体構成

第八次宮崎県農業・農村振興長期計画

第1編 長期ビジョン

第1章 みやざき農業の現状

- 1 本県農業の生産力
- 2 農業経営体・農業就業者の推移
- 3 農地の利用状況の推移
- 4 農業基盤整備の状況
- 5 県内産業におけるみやざき農業の位置づけ
- 6 県内雇用情勢の推移

第3章 危機事象の発生と対応

- 1 地球温暖化と気象災害の状況
- 2 地震・火山災害の発生と対応
- 3 家畜伝染病の発生と対応
- 4 植物病害虫の発生と対応

第2章 社会情勢の変化と時代の潮流

- 1 人口減少・少子高齢化社会の到来
- 2 グローバル化の進展、海外展開等の状況
- 3 農業資源・農業経営の状況
- 4 国内の食料消費の動向

第4章 農業政策をめぐる動向

- 1 農業施策の動き
- 2 地域計画の取組
- 3 県域JAの誕生
- 4 G7農業大臣会合の開催

第5章 計画の目標と目指す将来像

1 計画の目標（令和12年） 持続可能な魅力あるみやざき農業の実現

2 目指す将来像（令和12年を見据えた長期戦略）

（1）“農の魅力を産み出す”
人材の育成と支援体制の構築

（2）“農の魅力を届ける”
みやざきアグリフードチェーンの実現

（3）“農の魅力を支える”
力強い農業・農村の実現

第6章 農業構造展望と農業生産の目標

第2編 重点プロジェクト

第1章 策定にあたって

第2章 重点プロジェクトの構成

① 多様な担い手や人材の確保・育成

② 生産性の高い農業の展開

③ 持続性の高い農業の推進

第3編 基本計画（令和8年～令和12年の具体的な施策）

第1章 施策の体系

第2章 施策の具体的な展開方向

（1）次代を担う みやざきアグリプレーヤーの確保・育成

- ① 新規就農・参入支援によるプレーヤーの確保
- ② 地域農業をけん引する中核的人材の育成
- ③ 多様な農業者が活躍できる環境づくり

（2）産地サポート機能を有する 新たな体制の構築

- ① 産地サポート機能を発揮する農業支援サービスの充実・強化
- ② 技術・経営資源の円滑な承継
- ③ 多様な雇用人材の確保・調整

（1）スマート生産基盤の確立による 産地革新

- ① スマート農業の普及・高度化
- ② 効率的な生産基盤の確立
- ③ 分業による生産体制の構築
- ④ 安定した生産量の確保
- ⑤ 産地加工機能の強化
- ⑥ 産地革新を進める試験研究・普及の強化

（2）産地とマーケットをつなぐ 流通構造の変革

- ① 物流の効率化と供給機能の強化

（3）産地と流通の変革を生かした 販売力の強化

- ① 共創ブランディングの展開
- ② 食資源の高付加価値化に向けた取組の強化
- ③ 世界市場で稼ぐ戦略的輸出体制の整備

（1）次世代に引き継ぐ 魅力あふれる農山村づくり

- ① 地域の多様な人材が協働して稼げる体制の強化
- ② 集落の魅力を発揮し未来につなげる農山村づくり

（2）持続的で安全・安心な 農業・農村づくり

- ① 資源循環型産地づくりとエネルギー転換の推進
- ② 災害に強く持続可能な生産基盤の確立
- ③ 家畜防疫体制の強化
- ④ 植物防疫体制の強化
- ⑤ 安心して営農できる農業セーフティネットの強化
- ⑥ 環境に優しい農業の展開
- ⑦ 食料・農業・農村に対する県民の理解醸成

第3章 品目・畜種別の具体的な展開方向

米、施設野菜、露地野菜、花き、果樹、茶、その他の作物
肉用牛、酪農、養豚、養鶏、その他家畜、飼料作物

第4章 地域別の具体的な展開方向

中部地域、南那珂地域、北諸地域、西諸地域、
児湯地域、東臼杵地域、西臼杵地域

第4編 計画実現に向けた推進体制

第1章 役割分担 農業者、消費者、農業団体、他産業関係者、大学及び試験研究機関等、市町村、県

第2章 計画の推進体制

第八次宮崎県農業・農村振興長期計画 後期計画(R8～R12)における 重点プロジェクト(仮称)

1. 考え方

- 後期計画において、重点的かつ横断的に取り組むべき施策をまとめるもの
- 本県農業を取り巻く主な情勢の変化
 - ・ 農業者の減少、高齢化
 - ・ 世界的なエネルギー価格の上昇や、化学肥料や飼料といった資材の高騰
 - ・ いわゆる2024年問題を契機とした物流問題
 - ・ 県域JAの誕生 など
- 国の主な動向
 - ・ 「食料・農業・農村基本法」の改正（令和6年6月）
 - ・ 改正基本法に基づく、初の「食料・農業・農村基本計画」の策定（令和7年4月）
 - ・ 地域計画に基づく担い手への農地の集積・集約化 など
- 県では、G7宮崎農業大臣会合で採択された「宮崎アクション」の具現化に向け、令和6年度より、海外資源への過度な依存からの転換を図り、地域資源の活用等による本県農水産業の更なる発展を目指す「グリーン成長プロジェクト」を展開
- 本プロジェクトは、前述の背景等を踏まえつつ、食料安全保障の観点から、本県が将来にわたって食料供給基地としての役割を果たすため、「人材の確保・育成」や、「生産性」と「持続性」の両立に重点的に施策を展開

2. 構成

次の3つの柱で整理し展開します。

① 多様な担い手や人材の確保・育成

② 生産性の高い農業の展開

③ 持続性の高い農業の推進

① 多様な担い手や人材の確保・育成

【検討の視点】

- ・ 地域に応じた品目の担い手の確保・育成
- ・ 経営・マネジメント力を備えた農業経営者の育成
- ・ 外国人材や短期就労人材等の確保・育成の強化
- ・ 青年・女性・高齢農業者など多様な農業者が活躍できる環境づくり
- ・ 中山間地域の振興のための中間支援組織などの育成
- ・ 指導員（JA指導員を含む）や研究員の育成

② 生産性の高い農業の展開

【検討の視点】

- ・ 地域計画に基づいた農地の集約・大区画化
- ・ 地域特性に応じたスマート農業技術の導入
- ・ 分業生産体制の構築による生産力の維持
- ・ 輸出向け産地の育成
- ・ 気候変動に対応できる高温耐性などの新品種開発や、家畜の改良
- ・ 県産農畜産物の価値向上

③ 持続性の高い農業の推進

【検討の視点】

- ・ 化学肥料や化学農薬の使用量の低減、有機農業の推進
- ・ 重油使用量の低減など脱炭素化の推進
- ・ 家畜排せつ物などの地域資源の活用・循環
- ・ 県内集出荷拠点の整理・集約、効率的な輸送体制の構築
- ・ 中山間地域の農村振興
- ・ 農業・農村に対する県民の理解醸成

第八次宮崎県農業・農村振興長期計画 後期計画（R8～R12）における基本計画の施策体系

施策の体系

持続可能な魅力あるみやざき農業の実現

1
“農の魅力を産み出す”人材の育成と支援体制の構築

(1) 次代を担うみやざきアグリプレイヤーの確保・育成

(2) 産地サポート機能を有する新たな体制の構築

2
“農の魅力を届ける”みやざきアグリフードチェーンの実現

(1) スマート生産基盤の確立による産地革新

(2) 産地とマーケットをつなぐ流通構造の変革

(3) 産地と流通の変革を生かした販売力の強化

3
“農の魅力を支える”力強い農業・農村の実現

(1) 次世代に引き継ぐ魅力あふれる農山村づくり

(2) 持続的で安全・安心な農業・農村づくり

品目・畜種別振興

米

施設野菜

露地野菜

花き

果樹

茶

その他作物

肉用牛

酪農

養豚

養鶏

その他家畜

飼料作物

地域別振興

中部

南那珂

北諸県

西諸県

児湯

東臼杵

西臼杵